
環境活動レポート

2008 年度



平成 21 年 7 月 27 日発行

株式会社 横田金属

(対象期間 自 2008 年 7 月 至 2009 年 6 月)

目次

	ページ
1. 事業概要	2
2. 環境方針	4
3. 環境目標とその実績	5
4. 主要な環境活動計画の内容	6
5. 環境活動の取組結果の評価	7
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8

1. 事業概要

1. 事業社名

株式会社 横田金属
代表取締役 横田守久

2. 所在地

〒329-4307 栃木県下都賀郡岩舟町静 3 4 7 3

3. 事業内容

非鉄金属屑の売買（買取・選別・切断・圧縮・販売）

取扱品目

銅 黄銅 鉛 亜鉛 アルミニウム ステンレス 特殊金属全般
非鉄金属地金 アルミ合金塊等

4. 事業規模

設立年月日 昭和 42 年 4 月 3 日

資本金 1,000 万円

売上高 11 億円（2008 年度）

従業員数 11 名

車輛台数 13 台

敷地面積 2,955 m²

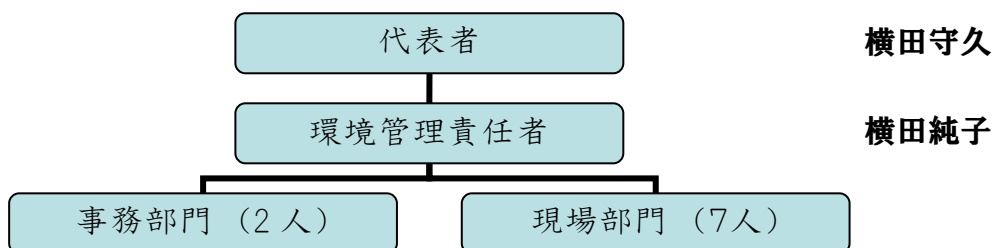
5. 環境管理責任者

氏名 横田純子

住所 栃木県下都賀郡岩舟町静 3 4 7 2

電話 0282-55-4101 FAX 0282-55-1486

6. 環境管理実施体制組織図



合計 11人

7. 施設等の内容

運搬車輛	台数	荷役車輛	台数	その他	台数
10tトラック	2	ユンボ	1	40t大貫	1
4tトラック	2	回転式フォークリフト (3t)	2	2.5t計量台	1
		回転式フォークリフト (2.5t)	2	230tプレス機	1
		2.3tショベルローダー	1	被覆銅線処理装置	1
				粉砕機	1
				シャーリング	2

2. 環境方針

環境方針

株式会社横田金属は本業である金属リサイクル事業を通して、循環型社会の実現に向けて、全従業員を挙げて取り組む。

また、事業活動に伴う環境負荷の低減を図り、地域社会との調和・共生を目指す。

☆重点取組事項

1. 重機・車両用の軽油の消費に伴う、二酸化炭素の排出量を削減する。
2. 工場内設備に使用する電力量を削減する。
3. 自社から発生する廃プラスチック等の廃棄物を削減する。
4. 工場内の3Sを徹底し、安全で明るい職場作りに取り組む。

☆ 関連する環境法規制を厳守する。

2008年 2月 22日

株式会社 横田金属

代表取締役 横田 守久

3. 環境目標とその実績

方針		中長期目標	2008年度 目標	達成状況
二酸化炭素排出抑制	軽油消費量削減	2009年度 2006年度比10% 削減	2006年度比 6%削減	目標 24,328ℓ 実績 18,248ℓ 目標達成 (-25%)
	電力量削減	2009年度 2006年度比10% 削減	2006年度比 6%削減	目標 57,474kWh 実績 53,496kWh 目標達成 (-7%)
	総排出量 抑制	2009年度 2006年度比10% 削減	2006年度比 6%削減	目標 90,699 kg-CO ₂ 実績 71,588 kg-CO ₂ 目標達成 (-21%)
廃棄物量削減		2009年度 2006年度比10% 削減	2006年度比 6%削減	目標 27,495 kg 実績 4,000 kg 目標達成 (-85%)
水使用量削減		2009年度 2006年度比3% 削減	2006年度比 2%削減	目標 118 m ³ 実績 85 m ³ 目標達成 (-28%)

4. 主要な環境活動計画の内容

1. 二酸化炭素排出抑制

■ 軽油消費量削減

重機用軽油の効率的使用

- ・ 定期点検・整備を行う。
- ・ 定速走行を心がける。

車輛の燃費向上

- ・ エコドライブの推進
 車両に燃費管理表を用意する。
 一緒に『エコドライブ10のすすめ』も備え付ける。
- ・ アイドリングストップを極力ひかえる推進する。
- ・ 事前に走行ルートの確認をしてから運転をする。

■ 電力量削減

- ・ プレス機への適正投入量の検討をし、実施する。
- ・ 切断し難いことによる無駄な消費電力削減のため、切断機刃物の定期交換を3ヶ月目安に行う。
- ・ 未使用時の電源オフの徹底
- ・ エアコンの設定温度表示・厳守（暖房23℃ 冷房26℃）
- ・ 必要のない照明のこまめな消灯を習慣づける。

2. 廃棄物量削減

- ・ 納品時の容器移し替え（プラスチック・袋等）を徹底する。
- ・ 繰り返し使えるドラム缶・鉄箱使用により容器の廃棄物を出さない。

3. 水使用量削減

- ・ 銅を選別する際に使用する水は雨水を利用する。
- ・ 節水こまを使用する。
- ・ 溜めすぎを心がける。

4. 3Sの徹底

- ・ 品物・パレット・コンテナ等種類別に定位置決定をし、維持する。
- ・ 清掃リストの作成・実施を行う。

5. 環境活動の取組結果の評価

1. 二酸化炭素排出抑制

軽油消費量、電力量共に削減でき、二酸化炭素排出量もかなり削減できた。電力量で毎月目標達成できるようにし、更に削減をしていきたい。

■ 軽油消費量削減

販売量の減少でトラックの走行距離が減ったことにより、大幅に目標を下回っての達成となった。

構内重機も昨年よりも、忙しく走り回る事が減ってきた。そういった要因だけでなく、トラックの燃費も平均をみると昨年の同時期よりも少し良くなってきている。トラック、重機共に燃費向上に注目して軽油量削減に取り組んでいきたい。

■ 電力量削減

目標に届かない月もあったが、消費電力量削減をすることができてきている。構内設備にかかる電力量は仕入れ、売上、時期などによって変わってくるが、事務所内ではエアコンの設定温度を決めたことにより節電に対しての意識が高まった。

2. 廃棄物量削減

実績では目標達成だが、実際は処分できずに溜めているので、今後、大幅に増加してしまう恐れがある。処理方法を今以上に考えていく必要がある。

3. 水使用量削減

節水がかなり定着したようで、大幅に目標を上回っての達成となった。2 か月単位で見ても、使用量が毎回 20 m³をかなり下回っている。今後も節水を心がけたい。

4. 3Sの徹底

在庫の量が増えたので、整理は大変だったが、整理整頓にかかる時間は取れたので、今まで手が行きとどかなかった場所がきれいになった。まだ改善できる場所はたくさんあるので、こまめにチェックして改善をしていきたい。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお関係当局よりの違反等の指摘は過去5年間ありません。また、訴訟等も同様に1件もありません。